

広域連携 文化・歴史 まち歩き ふれ愛タウン構築事業

資料3-7

～ホワイトスペース活用プロジェクト～

平成23年2月

飛騨高山ケーブルネットワーク株式会社



白川村エリア:356km²
森林率:約95%
急峻峡谷地域
年間観光客数180万人

高山市エリア:2177km²
森林率:約92%
急峻山岳地域
年間観光客数420万人

観光・地域振興における高山市・白川村共通喫緊課題

■観光産業の落ち込み

観光人口減少・滞留時間の縮小・面(流域)整備不十分

■地域経済の疲弊（単価低迷・購買頻度減少・雇用減退）

■中心市街地の空洞化（高齢化・活力衰退）

■増加する外国人観光客への情報伝達未成熟

■放送波過疎（地上波受信不可/白川村、高山市一部）

■災害発生時通信回線がパンク→放送波による情報提供不可

ホワイトスペース活用における導入課題

■高山市に限らず、近隣の山間地域の自治体では、

広大な面積に集落が点在した電波過疎地域、観光地も同様

→技術的には発達したCATV網にて点を線で結ぶ事が可能

→制度的には、地域コミュニティに係る電波利用の

規制緩和が必要

■事業化モデルのソフトランディング

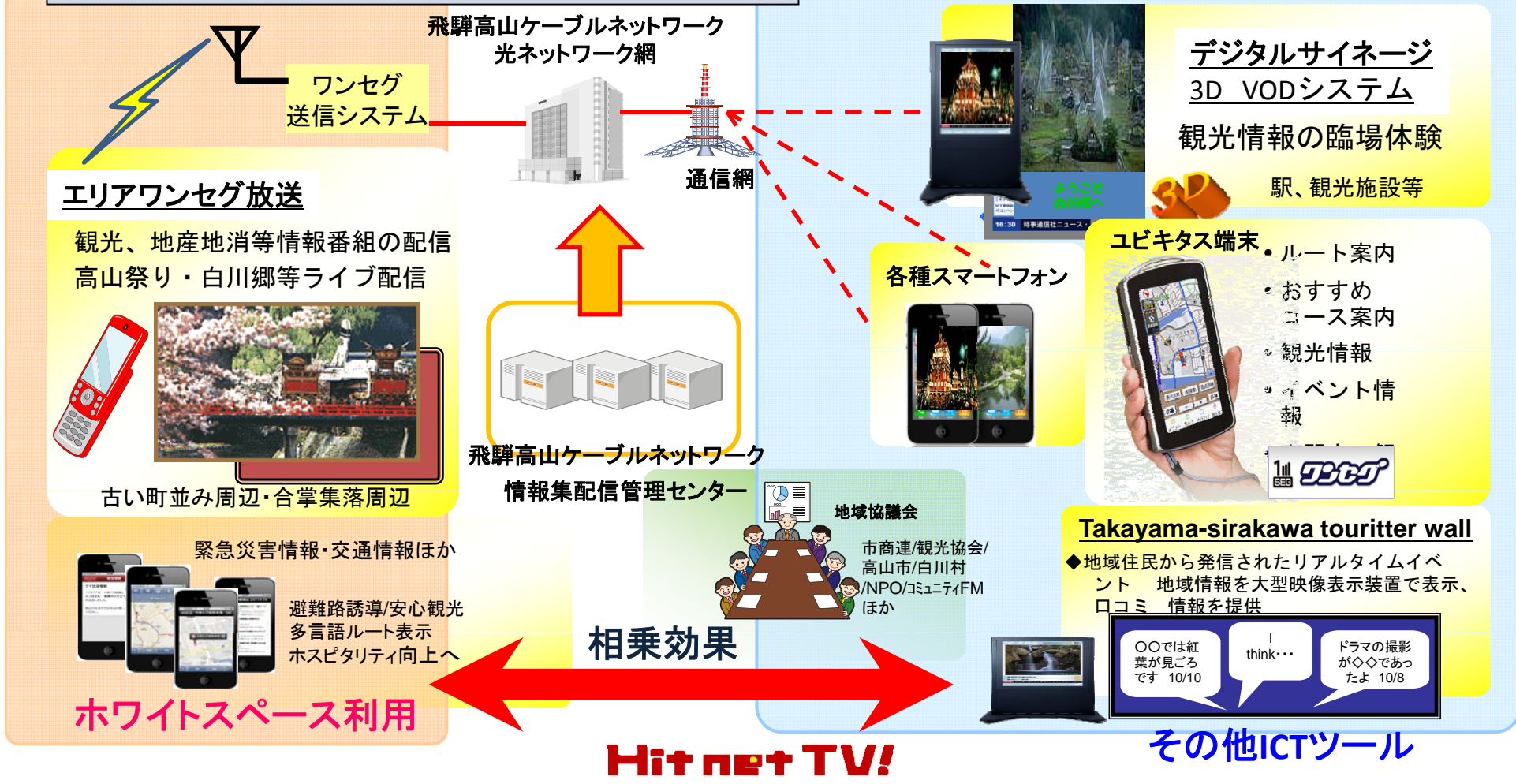
文化・歴史まち歩き ふれ愛タウン構築事業 イメージ図

事業概要

既設の光ケーブル網を利用し、小型携帯端末(スマートフォン・ユビキタス端末)や3D映像を利用したリアルタイム観光情報や多言語対応、飲食関連店舗からの旬の料理情報、特産品を盛り込んだ観光プランの配信等の情報を広域連携させて、観光まちづくりに貢献するとともに、観光者向けに防災情報を提供することで、効率的な避難誘導を行う---地域ICT事業との連動

期待される効果

- 地域の魅力的な観光情報とケーブルテレビ会社の制作するコンテンツの融合による更なる観光客の獲得
- 特に長期滞在客、リピータ、外国人観光客の増大
- 飛騨牛、高原野菜等、特産品の地産地消への取組
- 防災情報を多言語提供することで被害を最小限に食い止める

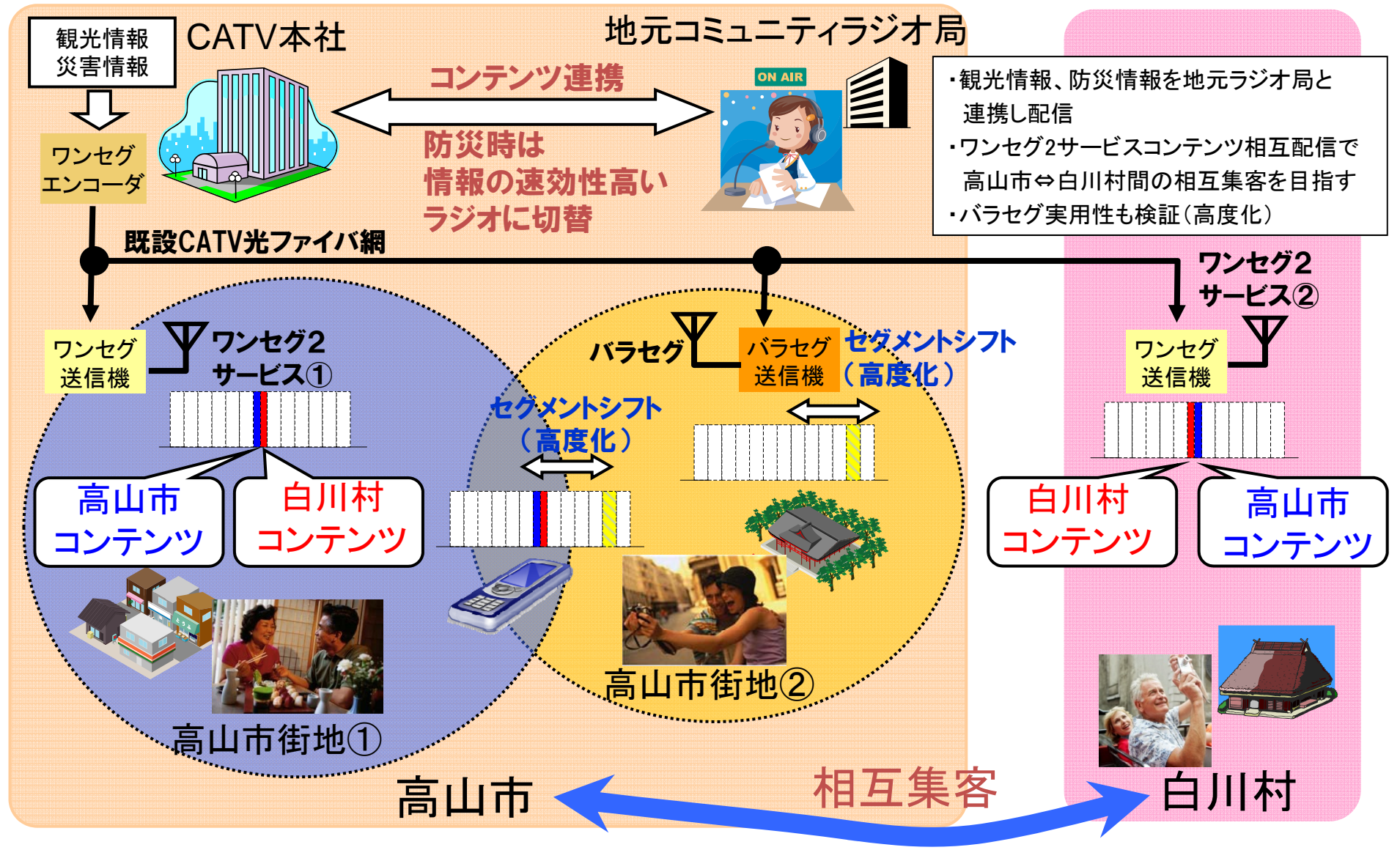


ホワイトスペース利用

Hit net TV!

その他ICTツール

サービス提供イメージ



- ・観光情報、防災情報を地元ラジオ局と連携し配信
- ・ワンセグ2サービスコンテンツ相互配信で高山市⇄白川村間の相互集客を目指す
- ・バラセグ実用性も検証(高度化)

Hit net TV!

今後の展望と効果

- 臨場感溢れる情報の広域連携による相乗効果
→ 越中・加賀・飛騨観光圏への流動と市場拡大
- 支所地域等との消費流通/地域自立活性の推進
- 地上波（エリアワンセグ）提供
→ 緊急災害情報/避難情報（観光クオリティ向上）
- 外国人観光客への
多言語コンサルジュサービスの提供
- 国際交流の深化（姉妹都市間(CATV)交流
～国内外コンテンツ流通/観光立国化に寄与
- 雇用創出・人材育成への取組
～定住自立圏構想への発展